

参加無料

若年性認知症セミナー

～就労について“ともに”考える～

65歳未満で発症する「若年性認知症」は、いわゆる“現役世代”で発症するため、ご本人やご家族にとって、“就労”や“社会とのつながり”が大きな課題となります。

このセミナーでは、若年性認知症のご本人から、自らの経験談をお話いただくとともに、就労支援の取組や実際に雇用している事業者の先進的な事例を紹介します。若年性認知症に対する理解を深めるとともに、働きたいという思いに応えるために私たちができることを考えてみませんか？

日時：平成29年**2月17日（金）** 13：30～16：00

会場：**ホテルアソシア静岡 3階 駿府**（静岡市葵区黒金町56番地）

対象：企業の経営者及び人事労務担当者、医療・介護等の専門職、
地域包括支援センター職員、行政等

◎プログラム

開会（13：30）

講演Ⅰ（13：35～14：15）

「若年性認知症の人と家族の支援」

小長谷 陽子 氏 認知症介護研究・研修大府センター 研究部長

講演Ⅱ（14：15～15：00）

「本人が抱える想い」

山田 真由美 氏

鬼頭 史樹 氏 名古屋市認知症相談支援センター 若年性認知症相談支援担当

講演Ⅲ（15：10～15：45）

「若年性認知症の人とともに働く」

稲葉 修 氏 木工房「いつでもゆめを」 代表

参加者との意見交換（15：45～16：00）

主催：静岡県

お問合せ：静岡県健康福祉部長寿政策課

TEL:054-221-2442 FAX:054-221-2142

e-mail: chouju@pref.shizuoka.lg.jp

講師プロフィール

小長谷 陽子 氏（認知症介護研究・研修大府センター 研究部長） 医学博士

昭和50年 名古屋大学医学部卒業

56年～奈良県立医科大学神経内科、米国メリーランド大学医学部神経内科留学（2年間）等を経て

平成4年 JR東海総合病院（現 名古屋セントラル病院）神経内科主任医長

11年 同 副院長

16年 認知症介護研究・研修大府センター 研究部長

国立長寿医療研究センター 物忘れセンター 神経内科（非常勤） 現在に至る

日本内科学会認定医、日本神経学会専門医・指導医、日本認知症学会専門医・指導医

日本認知症ケア学会評議員、日本医師会認定産業医 第22回日本老年学会優秀論文賞受賞

【著作】『本人・家族のための若年性認知症サポートブック』（中央法規出版）など多数

大府センターは、認知症ケアにおける研究・研修の中核的機関。若年性認知症の社会的支援に関する研究のほか、本人・家族向けのハンドブックなどを作成している。



交流会で談笑する山田さん（右側）と鬼頭さん

山田 真由美 氏

名古屋市在住。現在 56 歳。51 歳の時に若年性アルツハイマー型認知症と診断される。若年性認知症本人・家族交流会「あゆみの会」に参加し、当事者同士の出会いのなかで前向きな気持ちになる。その経験から「認知症のことを知ってほしい」「当事者にもっと外に出てきてほしい」という思いで講演活動などを行っている。

鬼頭 史樹 氏（名古屋市認知症相談支援センター 若年性認知症相談支援担当）

社会福祉士。名古屋市若年性認知症本人・家族交流会「あゆみの会」メンバーの「パートナー」として、ともに「認知症になっても安心な社会」を目指して活動している。



木工房「いつでもゆめを」のメンバー

稲葉 修 氏（木工房「いつでもゆめを」代表）

有限会社 INB の代表として、富士宮市でグループホーム「いっしょに暮らそう」を運営。平成 25 年 12 月に、若年性認知症の人の働く場として、木工房「いつでもゆめを」を開設。自社開発による車いす用体重計を製造販売するなど仕事を通じて社会とつながる取組を実践している。

アクセス



- JR静岡駅北口から徒歩1分
- 駐車場はホテル専用駐車場がありますが、有料です。公共交通機関等をご利用ください。

若年性認知症セミナー 参加申込書

- ・募集は定員（200名）になり次第、締め切らせていただきます。
- ・参加希望の方は以下申込書をFAXまたはE-mailにてお申し込みください。

静岡県長寿政策課宛 FAX 054-221-2142 E-mail: chouju@pref.shizuoka.lg.jp

所属先			
所在地			
TEL		FAX	
E-Mail			
役職			
氏名			